



## 秋の孔子祭で奉納演舞 田原 継人 (長崎教室・準師範)



2010年9月25日(土)、長崎市大浦町の孔子廟・中国歴代博物館で中国古代の思想家で儒学の始祖・孔子の生誕を祝う**釈奠典礼**(せきてんでんれい)が行われました。毎年、9月の最終土曜日にある行事で、孔子は紀元前551年に生まれたとされているので今年は2561周年にあたります。

中国の明時代から伝わる儀式をそっくり再現しています。伝統衣装に身を包んだ関係者60人が孔子の御魂を廟内の大成殿に迎え入れ、献言役に扮した李文亮駐長崎中国総領事、中村県知事、田上市長等5人が竹線香や酒などを供えました。



長を先頭に16名が整列しました。

←中庭へ入場。左から3人目が田原さん。

祭礼が終わると太極拳、中国獅子舞、龍踊の順に余興が始まり、私達は午後1時50分、第1番目の出番でした。

司会者に「楊名時太極拳長崎県支部の皆さんによる太極拳奉納演舞が行われます。楊名時太極拳は日本で一番愛好者の多い太極拳です」と紹介され、赤い絨毯が敷かれた中庭に長谷川支部

支部長が「孔子様  
生誕2561周年、おめで  
とう御座います」とお祝  
いの言葉を述べられ、全  
員で挨拶の後、立禅、ス  
ワイショウ、前半の八段  
綿、楊名時24式と演舞  
を奉納しました。



見物客が500人程  
いて三方の回廊を埋  
め尽くしてしまし  
た。このような雰囲気  
に最初は少し緊張

もしましたが、だんだん誇らしい気持ちになり普段通り落ち着いて演舞する事ができました。後半の八段錦、立禅、スワイショウをして30分の演舞が無事に終わると見物客から一斉に暖かい拍手を頂き、ほっとすると同時に満足感と感動が湧いて来ました。



沢山でする太極拳は  
本当に良いものです。  
演技者一同、長崎なら  
ではのお祭りに参加出  
来た充実の笑顔で記念  
撮影をして終わりました。



●記念写真はクリックすると大きな画像が出ます。  
最後列右端が田原さん。

私は楊名時太極拳と出会ってまもなく8年目を迎えます。その間、九州ブロック大分大会、福

岡大会、北海道交流旅行、上海交流旅行に参加し、ダイヤランドに**百花教室**を開講するなど数々の事がありました。今では毎日の早朝散歩の後にスワイショウ、八段錦、24式をして一日が始まり、太極拳は生活の一部に自然にとけ込んでいます。又、お陰で健康関連の書物にも良く目を通すようになりました。生涯に打ち込めるものに出会えた事を幸福と思っています。楊名時先生の本『太極の道』の中の「不怕慢 只怕站」の教えを胸に継続は力なりで楽しみながら続けていきたいと思います。◆◆◆

---

[戻る](#)